

一宮西高 同窓会報

第31号 2016年7月7日発行

発行：一宮西高校同窓会事務局
一宮市萩原町串作字河田1番地 〒491-0376
TEL (0586) 68-1191 FAX (0586) 69-0196
E-mail dosokai@ichinomiyanishi-h.aichi-c.ed.jp

一宮西高同窓会設立50周年を前に



同窓会員の皆様には、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

平素は、一宮西高同窓会の運営にご支援、ご協力賜り、厚く御礼申し上げます。
今年は一宮西高同窓会設立50周年にあたりますが、マイナバーのスタートに始まり、北海道新幹線の開通、熊本地震、伊勢志摩サミットがあり、都知事の問題や今年の同窓会総会中には、リオデジャネイロの夏季オリンピックなども開催されており、新聞記事



「さあ！試合だ！」女子ハンドボール部

同窓会会長 宮田 浩二

のネタには、困らないようになっています。

なかでも、今年夏から選挙権年齢が18歳以上となりましたが、引下げの改正公職選挙法は、1945年の終戦直後に25歳以上から現行の20歳以上になって以来、実に70年ぶりとなります。少しでも若い人の意見を国、地方の政治に反映させるために行うものとのことですが、皆が関心をもち安心して暮らせる日本でありたいと願うばかりです。
さて母校の一宮西高は、分校時代もあり平成25年10月31日に創立50周年記念事業を盛大に実施いたしました。今年は一宮西高同窓

会設立50周年となり、同窓会員数も、18,427名となりました。平成28年8月6日の同窓会総会を兼ね同窓会設立50周年記念事業を一宮駅のiビル七階にて行う予定となっております。
一宮西高同窓会員の皆様の喜びはひとしおではと思います。同窓会50周年記念事業のご意見、アドバイス等あれば、同窓会事務局までご連絡お願いします。
最後になりましたが、会員の皆様には、同窓会活動につきまして、今後ともより一層のご指導、ご協力をお願いいたします。同様に、皆様のご多幸とご健勝をお祈り申し上げまして、お願いの方々ご挨拶とさせていただきます。



予餞会



体育祭

平成28年度 同窓会総会のお知らせ (全日制第11回生・第31回生学年同窓会 同時開催)

日時 8月6日(土) 午後4時より
同窓会50周年を記念して講演会を開催します。
講師 薬師寺執事長 加藤朝胤氏(第2回卒業生)
場所 尾張一宮駅前ビル(i-ビル)
会費 5,000円(学生は3,000円)

※出欠は同封のハガキ、または
E-mail dosokai@ichinomiyanishi-h.aichi-c.ed.jp でお知らせください。その他のお便りもE-mailでどうぞ。
※来年度は、第12回生・第32回生(昭和53年卒・平成10年卒)の学年同窓会を計画しております。
※西高ホームページ
<http://www.ichinomiyanishi-h.aichi-c.ed.jp/>
も参考にして下さい。
HPの中にも、同窓会のE-mailアドレスが記されています。



修学旅行



修学旅行

2016年9月25日に、9回生の学年同窓会を名古屋マリオットホテル16階アイリスにて行います。

時間 11時30分～14時
会費 1万円
連絡先 iw@ops.dti.ne.jp (鷺津)

よろしくお願いします

教頭 吉田 俊也

はじめまして。この度の定期人事異動で一宮西高校へ赴任してまいりました。担当教科は英語です。本校は英語教育の拠点校（あいちスパーイングリッシュハブスクール）であり、来年度から国際理解コースを設置予定など、教育改革の最前線としてさまざまな取組を行っております。英語教育者としても力不足で至らぬ点が多々ありますが、ご迷惑をおかけしないようにしたいと思っております。

昨年度までは名古屋市瑞穂区にあります昭和高校で教頭として勤務してきました。とはいえ、名古屋地区の学校勤務は昭和だけで、それまでは隣の尾西地区の学校を転々としておりました。ここ一宮市（尾中地区）での勤務は初めてですが、かつて同僚として勤務させていただいた先生方も久しぶりにお会いできました。中には数十年ぶりの先生方もいらつしやり、昔を思い出すとともに、時の流れを実感しています。また、保護者となったかつての教え子との再会も、時の流れを感じる瞬間です。この数年どの学校でも、地区はかわっても、かつての教え子との再会が続いています。とてもうれしいひとときですが、やっぱり歳をとったんだなと実感しています。

赴任して数ヶ月を過ごした一宮西高校については、生徒が落

ち着いて、いろいろなことに力を入れて取り組んでいる学校だとの印象を持っています。先日引率者の一人として同行した一年生の遠足や二年生の修学旅行で、めいっばい楽しもうとする生徒の行動に感心しました。勉強や部活動に取り組むエネルギーも感じられます。ただ、入学時は学力的に余りかわらないはずの前任校の生徒達と比べると、地域性もあるのでしょうか、全般的におとなしく感じてしまい、もう少し自分の意見が言えるといいなと思う場面も正直なところないわけではありません。しかし、学習に関しては、より意欲的に取り組んでいることに間違いありません。生徒の進路希望の達成や、これまでの歴史と伝統を守りながらこれからの一宮西高校を築き上げていくお手伝いととも、将来のリーダーの育成にも微力ながら貢献できればと考えています。よろしく願います。

昨年度の総会報告

平成二十七年年度の総会は、昨年八月九日（日）午後五時より、尾張一宮駅前ビル七階シビックホールで行われました。十回生・三十回生を中心として、総勢百二十四名の方々に参加していただきました。ご多忙にもかかわらず、歴代の校長先生をはじめ、懐かしい旧正副担任の先生方、現職員の先生方に

もご出席いただきました。

総会では、平成二十六年度の事業報告・会計報告、役員改選、平成二十七年度の事業計画・予算案の審議と、滞りなく議事を進めることができました。総会でもご報告させていただいたように、同窓会費及び同窓会報郵送料カシパでは多くの方に協力いただき、重ねてお礼申し上げます。懇親会は、学年同窓会を担当した十回生・三十回生に新会員の四十九回生を加え、若々しい雰囲気の中で盛り上がり、各テーブルでは、昔話に花が咲き、時が経つのも忘れて旧交を温めることができました。懇親会を締めくくる校歌斉唱も恒例になり、名残りが尽きないままお開きとなりました。

本年は十一回生と三十一回生の学年同窓会を開催させていただきました。多数の方が参加していただければと考えております。なお、担当学年にかかわらず、クラス会や部活動のOB会の場合としても同窓会総会を大いに活用していただけたら幸いです。

今年度の総会に、是非皆様お誘い合わせの上、気軽に参加していただきますようお願い申し上げます。

東京支部会の報告

39回生 請川 裕晃
(2005年卒業)

2015年度の一宮西高校同窓会東京支部会は、12月12日（土）に東京、新宿にて開かれました。本校校長である井中宏史先生を含

め、20名ほどの方に参加していただきました。

新宿西口交番前の「西高の校章」の下に集い、1次会の会場へと向かいました。西高時代の懐かしい話や、近況報告で盛り上がり、あつという間の2時間でした。会場を移してクリスマスツリーの前で記念撮影を行いました。新しいメンバーを加えての2次会も、大変盛り上がったと伺っております。

関東圏在住、または東京に立ち寄られる皆様のご参加で東京支部会を盛り上げていただきたいと思います。

西高生に教えられて

出川 陸子

この度の人事異動により、西高を去ることになりました。

思えば6年前、西高に赴任するとかわかってからの数日間は毎日胃が痛かったです。「各中学校の優秀な生徒が集まってくる高校で教えられるのだろうか?」「人間的にも申し分のない生徒に対し、自分はいったい何ができるのだろうか?」

そんな中で慌ただしく迎えた入学式。自分の目の前にいたのは普通の初々しい高校1年生でした。リトルワールドへ遠足に行つたときも生徒たちの嬉しそうな顔はごく普通の高校生でした。

初めての定期考査で思うように結果を出せず、苦しむ生徒がたくさん出てきました。「授業のスピードが速くてついていけない」「課題がやりきれない」と言ってくる生徒もいました。そんな生徒の様

子を見て、西高は世界で活躍できる人材を育てる学校なんだと改めて気づきました。それならば生徒に挫折させたままではいけない。授業以外のLTやSTで、自分の人生を考えるためのヒントをたくさん紹介したのは今となっては懐かしい思い出です。

いつしか胃の痛さも忘れ、生徒の将来のためにと今まで出会ったことのない難しい教材の予習に力を入れ、学校祭の準備のサポートをし、進学指導の勉強も自分なりにやりました。自分の経験不足や力のなさに悔しい思いもたくさんしましたが、1年から持ち上がり、2回も卒業生を出させていただくことができました。

生徒のためといいながら、実は西高で自分が夢中になってやってきたことは、私自身のためでした。私は多くの先生や生徒に教えられて、知らず知らずのうちに教師として成長できたのだと思います。

次の勤務先は私の地元です。皆様も教えてくださったことを無駄にしないで、今後は地域に貢献できるように努力していきます。

本当にお世話になり、ありがとうございます。今後とも西高と同窓会が益々発展されることを心から祈っております。

お世話になりました

丹下 由男

一宮西高校には、生徒として三年間、教員として十九年間あわせて二十二年間お世話になりました。教員として採用されたときから、母校である西高の動向は、い

つも注視していました。そして、いつかは教壇に立ちたいと願っていました。平成九年に実現しました。すでに、西高を卒業してから、十八年も経過していたのですが、生徒時代に体験した学校行事の大半が、残されていたことをうれしく感じたことを覚えていません。何よりも、平成元年から導入された、複合選抜制度による高校入試が開始されてからも、進路実績が予想以上に保たれていたことは驚きであり、喜びでもありました。一宮高校との学校群時代から考えれば、西高の地位が低下することが当然と感じていただけに、不思議でした。この意味は、母校で仕事をするようになって、徐々に理解できるようになりました。

西高最初の授業で、発問に対する返答が不十分であることに對して、厳しく指導した生徒が、どこに問題点や間違った点があるのか、その日のうちに質問に来るという意識の高さに驚かされました。また、毎日のように数学の質問に来る生徒との出会いも印象的でした。志望校合格は無理と感じられるけれど、愚直に勉強を続ける姿勢に心打たれ、こちらも真剣に対応させてもらいました。この生徒が志望校に合格したことは、大きな喜びであり、驚きでした。勝手に生徒の限度を決めていた、自分の見識のなさを恥じることとなりました。最初の二年間で、他にも似たようなことを経験し、以後、生徒の可能性を信じ、進路指導をする西高での基準が理解できたのではないかと思っております。この二年間は副担任として、次の年は担任として三年生を

担当しました。進路指導部に所属し、数学の教科指導と進路指導を中心に活動しました。進路検討会は各担任の思いに基づき、個々の生徒の性格、学習状況等を踏まえた上で、偏差値には現れない学力に、重点を置いた意見交換がなされました。クラス担任・教科担任の感性が尊重され、やりがいを感じられる会議でした。

西高では、生徒に学業・部活動・学校行事に打ち込むことを要求しています。そうである以上、教員もそれぞれの意義を理解して、バランスを保つことが必要であると考えます。私自身も、部活動の重要性を理解し、バレーボール部の顧問として活動しました。能力の高い生徒が多く、男女合せて、五つのチーム（異なる学年）で尾張支部大会優勝を経験させてもらえたことは幸せなことでした。中学校時代の経験者がリーダーシップを発揮して、初心者を含めてチームとして成長していく過程を共にすることができたことは、大きな喜びでした。残念ながら、全員が県大会出場を果たすことはできませんでしたが、あと一つ勝てば県大会出場という試合は、ほぼ毎年経験できました。

「勝つという目的のために、ルールを逸脱することは、西高生であることを否定する恥ずべき行為である」との信念に基づいて指導を続けたことは、生徒にも伝わっていると自負しています。

西高は進学実績を残すために、学習以外の何かを犠牲にしてきた訳ではありません。部活動や行事を大切にバランスを保つことで、生徒・教員が誇りを持ちながら、毎日生活しています。帰属意識が強く、西高を大切にしていることが強く感じられます。制度の変わり目の度毎に、当時の先生方や生徒が一体となって知恵を出し合うことで、苦難を乗り越えてきたことが理解できるようにになりました。西高がよい学校であり続けられるのも、卒業生を含めた、西高に携わる多くの方々が、誇りや意地を持ち、努力を続けていたのだとお陰です。

自由で明るく、「規律と責任」文化をよく表しています。細かい規則で縛らなくても、各自の責任で行動することができる集団、それが西高です。いつの時代になっても、「西高に入学したい」「子や孫に入学して欲しい」と思うことができる西高であり続けるためにも、「西高の文化」が今後永く継承されることを祈念してやみません。

西高とともに過ごした日々

船橋 淳子

このたびの人事異動で、12年間お世話になりました一宮西高校を離れることとなりました。12年の間に娘は小学生から大学院生になり、大きな歳月であったことを痛感しています。ここまでの教員人生の半分近くを過ごした西高を離れてみて、初めて自分のスタンダードが西高にあったことを知りました。新勤務校では、大きな枠組みから些細なことまで何かと戸惑いながらも、ここにもまた伸びたいと願う高校生がいることを感じていきます。

西高では、心に残る生徒たちに数え切れないほど出会うことができました。クラス担任として出会えば、自分自身と同様に仲間たちを大切にする姿に人として一目置きました。情報発信の手段として妙なタイトルの『クラス通信』を発行してきましたが、卒業して何年も経てから、「あの時の通信に……」と話題にしてくれることもあり、誠実に発した言葉を誠実に受け止めてくれる生徒たちの存在がいかに教員としての喜びになったか、言うまでもありません。

教科担任として出会えば、もつと高くもつと先へという無言の要請に、こちらが引き上げられてきました。いわば私自身が育ててきたのかのようでした。英語科教員として、言葉でつながることが人としての幅を広げることが伝えようと、カリキュラムの改訂に合わせて新しい試みも導入してきましたが、信頼してついてきてくれた生徒たちにはなんとしても通用する力をつけてほしいと切に思っていた日々でした。

部活動では、一貫して茶華道部の顧問をしてきました。昼間定時の流れを感じさせる和礼室での活動は、穏やかな（時に賑やかな）雰囲気の中、日本文化にふれあう部員たちとの心安まる時間でした。9月初めの西高祭でのお茶会で、懸案だった『灼熱の和礼室脱出』を巡っては、山積する難題を一つ一つ解決して、大会議室でのお茶会を成功させてくれた部員の活躍が思い出されます。

最後に、この3月に卒業した『新』同窓生を始め、西高在職中

に出会った皆様、そして交わることはなくとも、脈々と流れる西高の伝統を築いてきた卒業生の皆様に感謝するとともに、この先も変わらず在校生たちを支えてくださることを信じ、同窓会の発展を心より祈念いたします。



体育祭

同窓会費納入及び協力金のお礼

昨年度も例年通り同窓会費（年間二千円）の納入をお願いしましたところ、二百三十三名の方から会費をいただくことが出来ました。同時にお願いました協力金とあわせて、六十八万円あまりをいただくことが出来ました。ご協力ありがとうございました。今年度も、年会費二千円とは別に、一口千円を協力金としてお願いしたいと存じます。同封の振込用紙をご利用の上、郵便局からお振込ください。よろしくお願いいたします。

学園だより

最近の一宮内高校

平成29年度募集より本校に「国際理解コース」が設置される予定です。昨年度もお知らせしましたが、すでにその流れは始まっています。1年生にはドイツ、2年生にはメキシコからの留学生が在籍しており、他の生徒と同じ授業を受けています。7月には、1ヶ月だけですが、オランダからの留学生が1年生のクラスに入り、そのクラスの生徒の家にホームステイをし、本校に通います。また、本校から短期ですが、海外に出かけていく生徒も増えてきました。グローバル人材の育成は、本校のみならず、県さらには国の教育目標の一つになっていきます。国際舞台で活躍する西高生が多くなることを期待しています。

平成二十八年度 高校総合体育大会の結果

《尾張支部予選会の結果》

- 男子総合 第6位
- 女子総合 第4位
- ◇競技別
 - 団体ベスト8相当以上及び、県大会出場について掲載
 - ゴシック体は上位大会出場
- 【陸上競技】
 - 女子
 - 第4位 4×400m R
梶倉由依・柴垣萌花
山本和奏・邑田紫音
 - 第3位 400m
柴垣萌花

- 第5位 400m
5000m競歩
男子
梶倉由依
中村美穂
- 第2位 三段跳び
- 第5位 800m
柴田晃大
徳江航己
- 第4位 5000m競歩
富田諒
- 第5位 5000m競歩
岸田一将・栗山新世
- 【サッカー】
 - 第3位
【男子ソフトテニス】
ベスト8 個人
佐藤・吉川 佐藤・水谷
 - 【女子ソフトテニス】
ベスト8 団体
川島・白坂
 - 【新体操】
 - 第5位 団体
【女子剣道】
団体 ベスト8
中根輝保
 - 【男子バスケット】
第7位
【女子ハンド】
第4位
【男子バレー】
第3位
近藤八雲
 - 優秀選手
【女子弓道】
団体 第8位
櫻木未音
 - 個人
【男子弓道】
団体 第5位
田島治希
 - 個人
【男子卓球】
個人シングルス ベスト24
今田義則
個人シングルス ブロック優勝
山内翔太
 - 【女子卓球】
個人シングルス ベスト16
大野詩織
 - 【男子バドミントン】
ベスト8 ダブルス 辻井・金森

- 【女子テニス】
準優勝 団体
ブルック準優勝
シングルス 藪内萌花・福田京佳
ブルック優勝
ダブルス 藪内萌花・福田京佳
- 【水泳】
第4位 200m 加藤遼也
- 《県大会以上の大会の結果》
- 【陸上競技】
 - 男子
全日本輪島競歩大会
高校1・2年 第5位 岸田一将
 - 【サッカー】
ベスト32 県大会
【女子テニス】
ベスト16 団体
【女子ソフトテニス】
県大会 3回戦敗退 川島・白坂
- 部の内情
サッカー部
石川県小松市
八月二日〜八月四日
- 第五十回生
常任幹事 服部 未希
年度幹事
一組 服部 秀平・服部 未希
二組 宇佐見侑子・高橋つづら
三組 高木 正明・前田 怜那
四組 高井 篤・則武 良沙
五組 服部 広大・齊藤ひかり
六組 水野 航・太田穂乃香
七組 櫻井 優友・服部 亮
八組 浅野遼太郎・堀井 諒
九組 宇佐見雅己・大平 唯佳
- 職員の変更
(敬称略)

北海道大	1	三重大大	11	東京理科大	11
東京大	2	滋賀大大	1	立教大	60
横浜国立大	2	京都大	2	愛知大	48
富山大	3	大阪大	3	知徳大	11
金沢大	5	神戸大	1	金城大	40
福井大	5	奈良大	1	山女大	51
信州大	4	広島大	2	中京大	156
岐阜大	40	神戸市外語大	2	南山大	41
静岡大	4	岐阜県立大	2	藤田保健衛生大	81
愛知教育大	33	愛知県立大	9	名城大	23
名古屋大	23	名古屋大	24	同志社大	56
名古屋工業大	30	国立大合計	230	立命館大	

- 平成二十八年年度
- ◇転出
 - 教頭 日比野憲一(退職)
 - 事務長 中川美智子(退職)
 - 地歴 夏目 順(退職)
 - 数学 水野 光平(退職)
 - 理科 大谷 弘直(県民生活部)
 - 国語 出川 陸子(津島高)
 - 国語 竹倉 裕子(安城南高)
 - 数学 丹下 由男(一宮興道高)
 - 英語 船橋 淳子(一宮南高)
 - 養護 服部 恭子(古知野高)
- ◇転入
 - 教頭 吉田 俊也(昭和南高)
 - 事務長 大塚 敏明(佐屋高)
 - 数学 吉井 剛(一宮興道高)
 - 理科 龍見さなえ(江南高)
 - 理科 浅井 照正(中川商業高)
 - 英語 吉田 輝美(尾西高)
 - 実習教員 水野 久子(一宮南高)
 - 地歴 黒川 綾美(新任)
 - 英語 木下 晶絵(新任)

大学合格者数一覧

(平成二十八年年度入試)



体育祭

昨年度の同窓会活動報告

- 同窓会総会の開催
平成二十七年八月九日(日)尾張一宮駅前ビル七階シビックホールで開催。旧・現職員、一般会員合わせて百二十四名の参加をいただきました。
- 同窓会報第三十号の発行
平成二十七年七月七日に発行いたしました。
- 同窓会郵送料カンパの実施
今年度も別記のとおり実施いたしますので、ご協力よろしくお願いたします。
- 東京支部会の開催
平成二十七年十二月十二日(土)新宿にて開催。西高側からは、井中校長、同窓生でもある請川先生が出席され、合わせて二十名ほどの参加がありました。
- 同窓会入会式および卒業記念品贈呈式
平成二十八年二月二十九日(月)に実施されました。第五十回生三百五十四名が同窓会に入会し、一般会員総数は一八、四百二十七名になりました。また、卒業生には、卒業記念品として、証書筒を贈呈しました。